

# 温室効果ガス排出量検証報告書

株式会社みずほ銀行 御中

## 1. 検証の対象

一般財団法人日本品質保証機構(以下、「当機構」という。)は、株式会社みずほ銀行が作成した「みずほ銀行 Scope1,2(日本国内分) 2021 年度算定報告書」(以下、「算定報告書」という。)が、同社により作成された「GHG 排出量算定ルール Scope1,2(日本国内分) Ver1.2」(以下、「算定ルール」という。)に準拠し、正確に測定、算出されていることについて第三者検証を行った。2021 年度とは 2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までの期間をいう。

検証の目的は、「算定報告書」を客観的に評価し、同社の 2021 年度の温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量の算定の信頼性をより高めることにある。

## 2. 実施した検証の概要

当機構は、温室効果ガスについては「ISO14064-3」、エネルギー使用量については「ISAE3000」に準拠して検証を実施した。本検証業務の対象活動範囲は Scope1,2 のエネルギー起源 CO2 排出量及びこれらに係るエネルギー使用量であり、保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準値は検証対象の総量の 5%とした。また、本検証業務の対象組織範囲は、株式会社みずほ銀行の国内 923 拠点とした。

検証では、現地検証に先立って「算定ルール」の確認のため統括機能の検証を実施し、Scope1,2 についてはサンプリングにより選定した国内拠点 6 拠点にて現地検証を行った。現地検証では、各拠点における算定対象範囲の確認、排出源及びモニタリングポイントの確認、算定集計体制の確認、排出量及びエネルギー使用量データについて根拠資料との突き合わせを行った。

## 3. 検証の結論

検証の対象とした、「算定報告書」の 2021 年度の Scope1,2 の温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量について、「算定ルール」に準拠せず、正確に算定されていない事項は発見されなかった。

温室効果ガス排出量 (単位: t-CO2)	Scope1	Scope2	計		
	8,568	115,715	124,283		
エネルギー使用量	灯油 (単位: kL)	軽油 (単位: kL)	重油 (A 重油) (単位: kL)	LP ガス (単位: 千 m <sup>3</sup> )	都市ガス (単位: 千 m <sup>3</sup> )
	330	1	75	3	2,574
	ガソリン (単位: kL)	電気 (単位: MWh)	蒸気 (単位: GJ)	温水 (単位: GJ)	冷水 (単位: GJ)
	847	246,850	29,294	19,385	66,086

## 4. 留意事項

「算定報告書」の作成責任は株式会社みずほ銀行にあり、Scope1,2 の温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量の検証の結論に関する責任は当機構にある。株式会社みずほ銀行と当機構との間には、特定の利害関係はない。

東京都千代田区神田須田町一丁目 25 番地

一般財団法人日本品質保証機構

理事 浅田 純 男

